

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1			入居者が笑顔でいきいきとした満足感のある生活をおくれるよう支援する。	季節ごとの行事、活動、食事等で楽しみのある生活を提供する。・笑顔を引き出し楽しみのある生活を提供する。・楽しみながら飽きずに行えるようレク活動のバリエーションを増やす。・個別の買い物や外食等の支援の機会を増やす。	
2			安全な環境整備と体調管理を行い、生活レベルを維持・向上できるよう支援する。	・毎日の適度な体操(ニギニギ、転倒防止、健口体操)を行い、体力・筋力を維持する。・レク活動や個別運動、個別活動で脳を活性化させ、ADLの低下を防ぐ。・一人ひとりの残存機能を把握し、生活リハビリを取り入れ機能維持、向上させる。・事故なく安全に暮らせるよう環境を整備する。	
3			認知症介護のプロとして職員一人ひとりがサービスの質の向上させる	・笑顔チェックをし、笑顔を引き出すケアを行う。・細やかな観察力を身につけ、異変の早期発見、迅速な対応、事故を防止する。・内外部の研修会に積極的に参加し現場に反映させる。・毎日目標設定しフィロソフィーを浸透させる。・入居者の目線に立ち入居者主体のサービスを提供する。	
4			地域との交流を定着させつながりを深める。	・ホーム周辺のゴミ拾いを定期的に行い、地域の方と交流する機会をもつ。・入居者の方と花を植え近隣のかたにも楽しんでいただく。・地域の商店等を活用し、なじみの関係をつくる。・地域の方々を招待しお茶会を開催する。	
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。